

もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

aito

7

Jul 2023
No.340

MORE
FLOWER,
MORE
POWER

エンジョイライフ

「100歳体操でいつまでも元気に！」

湯海支所管内 「山五十川100歳体操クラブ」の皆さん



私たち、老人クラブの健康教室で保健士さんから100歳体操を教えていただいたことがきっかけで、3年前に市の長寿介護課のサポートをいただき、「山五十川100歳体操クラブ」を立ちあげました。100歳体操とは動きやすい身体をつくり、100歳まで自分の足で歩くことを目的とした体操です。現在は、会員15人で毎週木曜日に1時間程度活動しています。椅子や重りを使って、筋力を向上させる体操や脳を鍛える体操、口の体操などを行っています。

筋力が付くことにより自転車で坂道を楽々と登れるようになります。農作業がしやすくなったりと日常生活に役立っています。また、体操をしながら、和気あいあいと日常会話を楽しんでいます。

私たちにとって100歳体操は、生活のリズムとなっています。日常会話を通した情報交換も行なながら、体力の向上につなげたいです。

会話を楽しみながら汗を流しています！



心優しく自分らしく育ってね！

三川支所管内

志田 望結葉ちゃん(5)・結希葉ちゃん(5)・紡基くん(1)



望結葉ちゃんは、面倒見がいい双子のお姉ちゃん。ごっこ遊びやおままごとが大好きです！

結希葉ちゃんは天真爛漫な性格でいろんなことに興味津々！最近始まったプールに夢中です。

紡基くんは、人懐っこくいつもニコニコ♪お母さん手作りのにんじんゼリーが大好物です。



3人でいっしょにおめかししたよ！



マイドームは車遊び！

アライターハーベスチャーミング

あいと
キッズ

JA Shonai Tagawa Community

FAMILY FARM

立派な稲穂に育てる 것을 목표로

かとう たすく
藤島支所管内 加藤 翼さん (35)

私は、亡き父が続けてきた農業を引き継ぐ形で今年から就農し、専業農家になりました。水稻栽培を行っており繁忙期に手伝いをしていましたが、栽培の流れや農機の使い方などは知識がほとんどありませんでした。そんな時に私を支えてくれたのが地域の先輩農家の方々です。栽培管理や今後を見越した留意点など詳しく教えていただきました。

田植えまでの時期では、初期生育確保が重要な苗管理の際にアドバイスをいただき、おかげですくすくと稻が生長しています。先輩農家の方々から教わったことを守りながら今後の水田管理に努めています。

就農1年目ではありますが、日々農業に向かう中で育てている稻の生長が目に見えてわかることがやりがいに繋がっています。収穫期までに立派な稲穂に育てることが今の目標です。

ファミリーファーム



SHONOSEI TRY



庄農生トライ

笑顔をお届けできる
働き方を目指して

さとう はのか
食品科学科3年 佐藤 穂乃香さん

「こんにちはー、庄農ですー、野菜を販売しにきましたー」学校で一生懸命栽培した野菜をいつもの得意さんに販売に行くと「今日はなんだやー？」そう言っていつも暖かく出迎えてくれる優しい顔が、私は大好きです。収穫したばかりの旬の野菜を大事に手渡しして「ありがとうございましたー、またきますー」と笑顔で言うと「まだよろしきー」と笑顔が返ってきます。食卓に並んだ野菜を美味しそうに食べる姿を想像すると頑張ろうと思えます。私は、将来グランドハンドリング業務に携わりたいと考えています。航空機を定刻通り安全に飛ばすにはパイロットだけでなくグランドハンドリングの支えが必要不可欠。私が積みたいのは荷物だけでなく人の思いであり、到着した先にある笑顔を想像し嬉しくなります。そんな働き方を私はしたいです。

人と自然、食べ物と生命、消費者と生産者。みんなでつながっている。

質 農協のリスク管理について、令和4年度の決算は、経常利益3億2837万5千円で、前年度2億5960万4千円と比べ増加したが、特別損失と税引後の当期剩余金は、▲2億6185万5千円で、損失金計上は合併後初めてであった。当期赤字の主要な要因は減損損失5億45千円で、新余目支所はイグゼあまるめの撤退に加え、今後の活用に見込みがないため、事務所以外が遊休資産となつたとしている。処分可能見込価格で評価し、簿価との差額4億9167万6千円を減損損失として計上された。こうした遊休資産全体の実態と、将来的な処分計画、今後の経営に与えるリスクをどう考へておられるか伺う。

答 今期決算について、主に新余目支所の減損損失の計上により、農協合併後

質 農業振興政策について、政府から「水田活用交付金見直し」が打ち出されたが、農協として経営が成り立つ支援策や、「水張り」の水田交付金5年ルールによる弊害、畠地化による弊害が起きないよう、どう求めてきたか伺う。

答 水田活用交付金5年ルールについて、JAグループにおいても要請運動を繰り返し、行政においても様々な展開し、行政においても様々な場面で要請がなされているようあります。こうした要請運動の結果、当初5年に1度は水稲を作付けしなければならないのが、一定の要件を満たせば1カ月の水張りで良い等、一部緩和も見られます。また、農省の求めにより、JAグループや地域再生協議会より現場の様々な課題を積み上げたところであり、JAとして最も最終取りまとめを示しており、課題そのも

質 肥料、飼料等農業資材の高騰については、昨年の値上がりの情勢を踏まえ、合併JAのスケールメリットを活かし、肥料の前取りを最大限実施させて頂きました。また、銘柄の集約と早期予約

初めての損失金計上になりました。総代はじめ組合員の方々に多大なるご配慮をおかけしました。当JAの遊休資産は、時価評価で建物2430万円、土地4645万円の合計7075万円になっております。このうち建物についても減損処理を行い、回収可能額まで帳簿を落としておりました。また、土地についても時価まで価格を落としておりました。JAは、理事会承認後、処理していく事としております。また、JAは、JAとしての減損会計については、事業損益の悪化や今後の活用が見込まれない場合に処理を行わなければならぬ事から、経営の健全化を図るとともに、リスク管理積立金の積み立てを計画的に行ないながら、今後の

初めの損失金計上になりました。総代はじめ組合員の方々に多大なるご配慮をおかけしました。当JAの遊休資産は、時価評価で建物2430万円、土地4645万円の合計7075万円になっております。このうち建物についても減損処理を行い、回収可能額まで帳簿を落としておりました。また、土地についても時価まで価格を落としておりました。JAは、理事会承認後、処理していく事としております。また、JAは、JAとしての減損会計については、事業損益の悪化や今後の活用が見込まれない場合に処理を行わなければならぬ事から、経営の健全化を図るとともに、リスク管理積立金の積み立てを計画的に行ないながら、今後の



特集 第28回通常総代会

J A庄内たがわは6月21日、三川町のいろり火の里の花ホールで第28回通常総代会を開きました。実出席と書面出席、代理出席の計441名の総代により、上程した9議案が原案通り承認されました。

また、任期満了に伴う役員改選では、理事24人、監事6人を選任し、総代会後の臨時理事会で、代表理事組合長に海藤喜久男氏、代表理事専務に小林馨氏を新任、常務理事に佐藤茂春氏を再任し、代表監事に押切光久氏、常勤監事に佐藤敏勝氏を新任致しました。

なお、営農経済事業本部長（営農経済担当常務理事）は、小林馨代表理事専務が兼務致します。2022年度は、第9次中期経営計画の2年目に当たり、営農販売部門において、米穀に係る競争優位性の確保とマーケティングの強化が求められていることから「米穀部」を独立機構とし、販売体制の強化と集荷体制の整備に取り組んで参りました。

2023年度は、第9次中期経営計画の最終年となり、農業者の所得増大と農業生産の拡大、地域の活性化のさらなる実践に取り組み、営農販売事業全般に亘る改革に向け、役職員一丸となり取り組むことを確認しました。



農家組合員との “対話と協同”

J A 庄内がわ
代表理事組合長

海藤 喜久男



組合長就任ごあいさつ

組合員並びに地域の皆様におかれましては、平素より当農協の事業運営に多大なるご理解とご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

6月21日に開催された第28回通常総代会後の臨時理事会において、代表理事組合長に選任され、その重責を担うこととなりました。その責務の重大さを痛感するとともに、理事として、これまで取り組んできた経験を活かし、組合員の負託に応えるべく全力で誠実に職務を全うする所存でございます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大から丸3年が経過しましたが、未だ完全な収束とはなっておらず、加えてロシアによるウクライナ侵攻、激しい円安など農業や地域社会を取り巻く環境は厳しさを増しておなり、特に肥料・飼料などの生産資材の高騰により、農家経営は厳しい状況におかれています。

当農協においては、第29回JA全国大会における決議での「持続可能な農業・地域共生の未来づくり」を踏まえ、引き続き「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」のさらなる実践に取り組むとともに、農家組合員との徹底した「対話と協同」を通じ、営農事業改革を進めて参ります。そして、自己改革の実践、早期警戒制度に対応し、持続可能な経営基盤の確立・強化を図り、自己資本の充実に努め、未來の庄内がわ農協を組合員の皆様と共に創りあげて参ります。

今後とも、より一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げ、就任のご挨拶と致します。



質 当初、女性総代の参画を増やす事で計画されていたが、現状からすると女性総代は減少し、今回の役員改選で女性役員は選ばれていない。これから「女性の参画」についての考え方を伺う。

答 第9次中期経営計画では、総代550名中83名（15%）の女性総代、10%の女性役員の目標を掲げております。女性参画については、各部会組織等に対し、あらゆる場面で女性参画を呼び掛け参りました。平成14年4月より「女性の意見要望を、直接組合運営に反映させるとともに、組合事業・運営の活性化を図る」ため女性参与を設置し、女性参与3名より四半期毎の理事会に出席頂き、意

見要望を直接農協経営に反映させて参りました。

JAグループでは、組合員の学習活動、青年部・女性部等の多様な組合員組織の育成・支援、新たな仲間づくり等に取り組み、女性参画の拡大においては、SDGsや女性部組織への参加を促しております。

質 協同組合の理念として、「協同」が大前提である以上、事業利用頻度（肥料の大量購入等）によって価格差を設ける事に疑義があり、「差」を設ける事について伺う。

答 農協が持つスケールメリットを最大限に活用し業者と掛け合い、利用価格の最低価格を提示しております。もちろん農協を運営する中で一定の収益の確保は必要であり、皆様のご理解を頂きます。もちろん農協として一定の平等性を保つ考え方も加味して参ります。

質 担い手不足は大変重要な課題であると受け止めています。今後、全国的な少子高齢化、人口の減少により農業分野のみならずあらゆる分野で後継者、人材不足が言られています。今、耕作放棄地や向こう5年間の水活の重要な課題として国でも位置付けていると感じています。人農地プランが法令化され、地域での話し合いをしっかりと行って頂き、目指すべき将来のその地域農業をしっかりと明確化して頂きたいという事が國の一つの狙いだと思いま

質 購買事業について、肥料高騰対策として国に對し、秋と春に分けて申請をしていると伺いました。肥料の値段は高止まりしている状況ですが、JAは6月に肥料価格の見直しを行うという事が慣例かと思います。これについて、いつから実施されるどの位の単価になるのかを示して頂ければと思います。これで頂ければと思います。同時に、継続するのであれば、肥料高騰対策として單年度分については率に応じて戻すという事になっていますが、継続的に値段が高いとなれば継続するのか、それがされないのであれば國に申請するのかお聞きしたい。

質 肥料価格については、肥料価格についても、昨年高騰したという経験運動を通じて担い手の状況を確認し、組合員の後継者に留まらず地域の担い手の確保に向けて生産組織または農業法人等の話し合いを今後も進めていきたいと思います。

JAとしても6月1日以降引受け部分について、値下がりするという観点から、6月の下旬からは値下げをする予定にしています。値下げ幅については、ある程度正確な数字でなければ申し上げられませんのでご理解を頂きたいと思います。それから今年の秋から決定されることになります。各々の単価については配送センターにお問い合わせ頂いても、去年の様に早い情報が分かり次第、皆様方に早期の予約をお願いする場合もあると思いますのでよろしくお願ひします。

性総代は減少し、今回の役員改選で女性役員は選ばれていない。これから「女性の参画」についての考え方を伺う。

JAグループでは、組合員の学習活動、青年部・女性部等の多様な組合員組織の育成・支援、新たな仲間づくり等に取り組み、女性参画の拡大においては、SDGsや女性部組織への参加を促しております。

質 これから高齢化が進む中で、農協では後継者育成についてどの様に考えていくか。支援センターやSEADSなどがあるが、農協ではこれとは別に後継者づくりのための教育方法や案があるか。

JAとしても、積極的に参画して頂くとともに、農協としても次世代総点検運動を通じて担い手の状況を確認し、組合員の後継者に留まらず地域の担い手の確保に向けて生産組織または農業法人等の話し合いを今後も進めていきたいと思います。

肥料価格については、肥料価格についても、昨年高騰したという経験運動を通じて担い手の状況を確認し、組合員の後継者に留まらず地域の担い手の確保に向けて生産組織または農業法人等の話し合いを今後も進めていきたいと思います。

JAとしても6月1日以降引受け部分について、値下がりするという観点から、6月の下旬からは値下げをする予定にしています。値下げ幅については、ある程度正確な数字でなければ申し上げられませんのでご理解を頂きたいと思います。それから今年の秋から決定されることになります。各々の単価については配送センターにお問い合わせ頂いても、去年の様に早い情報が分かり次第、皆様方に早期の予約をお願いする場合もあると思いますのでよろしくお願ひします。

第28回通常総代会

役員のご紹介

第28回通常総代会終了後に開かれた臨時理事会・監事會において、3名の常勤理事をはじめとする新執行体制が決定致しました。

【敬称略★は新役員（ ）内は集落名】

常勤理事
3名
海藤 喜久男 ★
(庄内町・橋下)

代表理事専務(営農経済事業本部長)
小林 馨 ★
(鶴岡市・中川代)

常務理事(金融事業本部長)
佐藤 茂春
(鶴岡市・大西町)

非常勤理事



非常勤理事
21名



監事
6名



代表監事
押切 光久 ★



常勤監事
佐藤 敏勝 ★



長年お疲れ様でした

（退任される方々）



清野 大輔 ★
(鶴岡市・大網)



宮崎 康史
(鶴岡市・野中)



銀持 康光
(鶴岡市・椿出)



鈴木 聰
(鶴岡市・松根)



渡部 修
(鶴岡市・高寺)



丸山 見聖
(鶴岡市・荒川)



斎藤 學氏
(前常勤理事)



首原 勝氏
(前代表理事専務)



佐藤 勝仁氏
(前常勤監事)



鈴木 善一氏
(前代表監事)



鈴木 恵子氏
(前非常勤監事)



斎藤 源之助氏
(前非常勤理事)



佐久間 健洋氏
(前非常勤監事)



矢花 由紀子氏
(前非常勤監事)



キュウリ・ハウスの温度管理を徹底し安定生産目指す

櫛引地域の下山添野菜出荷組合と営農販売部は6月8日、山形県農林水産部が同地域のキュウリ団地で行ったキュウリ栽培における環境データなどを活用した栽培技術向上研修会に参加し、高品質生産や収量増加に向け栽培方法などを確認した。生産者と県の関係者ら約20人が団地のハウスを調査し、株式会社デルフィージャパンの齊藤章さんが講師となり生育状況とハウス内の管理方法を説明。ハウスの温度管理として、遮光・遮熱のために屋根に塗布剤を散布する、外気導入を行うことなどをアドバイスした。今後は、日当たりを良くするため適度な葉かきを実施する他、摘果を行い生育のバランスを崩していく。



JA職員がブドウ農家のもとで農業研修

入組し今年度で2年目を迎える職員1人が、6月12日～16日の5日間、管内の農家へ赴き農業研修を行った。JAでは、生産農家の現場で実際に農作業を体験することで農家の抱えている問題やJA職員としての心構えを学ぶことを目的に2014年度から同研修を実施している。櫛引支所営農課農業係の鈴木愛菜さん（19）は、櫛引地域の稻泉秀規さん宅でブドウ「デラウェア」の農作業を体験した。鈴木さんは「普段の業務でもブドウを担当しているので、実際に作業を体験し学び得ることができとても良い経験になった。これからも農家の方々との関わりを大切にしていきたい」と話した。



青年部・青田巡回し栽培技術学ぶ

青年部は6月9日、櫛引・羽黒地域と三川町にある青田4カ所を巡回し、田植え後の生育状況と今後の栽培管理について学んだ。この取り組みは、同部員らの栽培技術向上を目指し毎年行われている。この日は、同部員約10人が参加し、羽黒地域の生産者である金内秀和さんの指導のもと、移植した苗の状況を確認。苗が水に浸かった際に付着した除草剤を落とすため、田んぼの水交換時に水位を高くするなどを呼び掛けた。今年産の苗の生育は順調に推移しており良好。同部では、7月上旬に種子から出た茎の根元から新しい茎が出てくる「分けつ期」での巡回を行い、稻刈りに向けた栽培管理を確認した。



山ぶどう・適切な新梢管理で高品質生産につなげる

朝日支所山ぶどう部会は6月30日、朝日地域の園地で特産品「月山ワイン」の原料である「山ぶどう」を始めとした醸造用ブドウの夏季管理講習会を開いた。部会員約20人が参加し、新梢管理や着房管理の留意点を学んだ。この日は、山ぶどうと白ワインの原料となる「シャルドネ」の園地3カ所を確認。今後の新梢管理では、日当たり改善・樹勢調節・母枝の育成・通風採光による病害予防を目的に枝が混んでいる部分は誘引し間引きを行う他、伸び続ける新梢は13枚程度で摘心を実施していく。また、べと病対策や草刈りによる下草管理も徹底していく。収穫は9月から行われ、月山ワイン山ぶどう研究所へ出荷される。



梨・安定生産目指し新梢管理学ぶ

櫛引支所なし部会は6月13日、櫛引地域で和梨の栽培管理講習会を開いた。部員約10人が参加し、新梢管理や摘果作業について学んだ。今年産は、平年より8日早い4月20日に満開を迎え、8月下旬の出荷を見込んでいる。この日は、県庄内総合支庁農業技術普及課の担当者が講師を務め、新梢管理のポイントを説明。主幹および主幹基部が混み合い、薬剤がかかりにくい場合は早めに新梢を切断する他、着果が少ない園場は適度に新梢を残し、樹体内のバランスを保つよう呼び掛けた。同部会では引き続き、肥大期である6月下旬～7月中旬に向け適期の病害虫防除を徹底し、高品質生産を目指していく。



トルコギキョウ・整枝・摘蕾の留意点学ぶ

トルコギキョウ専門部は6月7日、庄内町にある圃場で栽培講習会を開き、整枝や摘蕾作業を実際に行なながら栽培に関する悩みを相談し高品質生産に繋げた。参加した部員ら約20人は、2月定植と4月定植の圃場を確認。県庄内農業技術普及課の担当者によると、整枝は下～中位の側枝は短いうちに取り、花芽ができるから上位4～5枝を残す他、摘蕾は頂花を発芽後早めに取り除き1次側枝の蕾の大きさを揃えるよう呼び掛けた。また、花首の伸び過ぎや折れを抑えるため少量灌水を基本とし、送風などでハウス内が高湿度にならないよう努めることとした。今後も、温度管理と病害虫防除を行っていく。



子ども達が紙芝居で食農を学ぶ

J Aは6月6日、未来を担う子ども達へ食農の大切さを学んでもらおうと鶴岡市のいなば幼稚園で紙芝居公演を開いた。この日は、紙芝居師の中村恵二さんを招き、同幼稚園の児童24人に歌や質問を交えながらお米についての紙芝居や食べることをテーマにしたおとぎ話などを読み聞かせた。児童らは楽しそうに笑い声をあげながら紙芝居を楽しんだ他、中村さんの食農の話に真剣に聞き入っていた。JAは今後、農業は「いのち」を支える「食」を生み出し、地域文化の基本となることを念頭に置き「農」の体験を通して食やいのちの大切さを実感してもらうため、楽しく学習できるよう食農教育を企画していく。



ネットメロン・収穫間際の水管理を徹底

ネットメロン部会は6月20日、三川町にある圃場を巡回した。この日は、園芸特産指導員と部会員4人が参加し、圃場3カ所を確認。生育状況や高品質出荷に向けた今後の栽培管理などについて学び出荷への士気を高めた。今年産は、4～5月に比較的好天が続いたことからネットのかかり具合や果実の肥大状況が良好に推移している他、やや前進傾向で生育が進んでいる。園芸特産指導員は、秀品率を上げるために収穫間際の水管理が重要とアドバイスした。同部会は今後、定期的な圃場巡回や病害虫防除を実施し、夏の最盛期に向け品質管理に努めていく。



新ブランド

出羽美人

8月初旬販売開始!

出羽美人とは、JA庄内たがわの茶豆の新ブランドです。光センサーによる食味分析計でおいしさを数値化し、栽培の振り返りや今後の栽培に生かすという世界初の取り組みを行っています。

「出羽美人」 名称の由来

在来種として庄内地方で古くから伝承されたJA庄内たがわの主力品種である、おいしい風味とふくよかな甘みをもつ茶豆(枝豆)を全国にPRを図り、販売されることを願い、親しみやすく覚えやすいようネーミングしました。



光センサーで食味値を分析

产地全体の品質向上と栽培試験などの結果を検証するため、令和4年7月に光センサー食味計を導入。枝豆に含まれる遊離アミノ酸をうまみ成分、スクロースを甘み成分として分析し、数値が出る仕組みです。



生育順調!

これまでJA庄内たがわ枝豆部会では、食味値が高い栽培方法を部会推薦を取り入れ、生産者間における食味の高位標準化を図ってきました。販売開始に向けて栽培管理を徹底しており、生育は順調です。

販売開始に至るまで

JA庄内たがわプロジェクトチーム設置

食味品質向上計画策定

販売戦略計画策定

食味向上に向けた
試験栽培

試食会・消費地
交流会などの開催

食味測定・試験結果
分析と検証

ブランド戦略検討

パッケージデザイン検討

推奨栽培方法の
検討と決定

販売PR

**R5年8月初旬
新ブランド出羽美人販売開始**

8/6(日) 11:00~13:00
庄内農マルシェにて試食宣伝会を開催します!

信用Q&A

Qこれまで、妻と二人で水稲農家を続けてきましたが、この度、健康上の理由と後継者の問題等で、同じ地域の農事組合法人に耕作を委託することにしました。

私個人では、これまで大きな借入はなかったのですが、使っていない当座貸越型の「営農ローン」があるようです。手続きをせずにそのままにしておいて問題ありませんか。

A健康上および後継者等の問題により離農されるとのこと、大変残念ではあります。これからもこのお住まいの地域の発展のために尽力され、また、当JAに対しまし

てのご指導、ご鞭撻も引き続いただけますと幸いです。

さて、「営農ローン」につきましては、ご利用いただける方の要件が、①当JAの組合員の方、②農産物を販売されている方、となっております。「離農」されるということになりますと、この要件に合致しなくなると考えられますので、大変お手数ですが速やかに各支所の融資窓口でご解約の手続きをお願いいたします。

また、離農時に「貸越残高」のある方につきましては、毎月返済に切り替える融資商品をご用意いたしております。

詳しい商品内容、ご利用条件等につきましては、当JAホームページ、または各支所融資窓口までお気軽にお問い合わせください。



ブルーベリー・収穫適期見逃さず高品質出荷を

ブルーベリーパート会は6月22日、羽黒地域の農業分析センターで目揃え会を開いた。部会員約30人が参加し、出荷規格や選果・収穫時の留意点を入念に確認した。この日は、園芸特産指導員が収穫時の留意点やポイントを説明。収穫は適期を見逃さず完熟前に行う他、高温時の夜間は風通しの良い状態で保管するよう呼び掛けた。また、選果時は未熟果の混入に注意することとした。今年産は、着色や果実の肥大など良好に推移している。同部会では今後、病害虫対策として定期防除を実施し品質維持に努め、取引先である地元や関東市場へ約20tを目標に7月下旬まで出荷する予定だ。



菊・目揃え会で出荷規格を確認

花き部会菊・スプレー菊専門部は6月7日、庄内町の花き集出荷施設でスプレー菊を含む菊類の目揃え会を開いた。部会員約20人が参加し、出荷規格や出荷時の調整作業方法について確認した。園芸特産指導員は、スプレー菊は、頂花は原則として取り除かずフォーメーションや開花挿しの悪い物、奇形花を取り除いて出荷調整を行うようアドバイス。また、荷造り時に水揚げする他、濡れた葉茎は乾かし見た目よく箱詰めすることとした。菊類全体で前々日集荷を行い、取引市場への出荷情報を伝達するなどして有利販売に繋げていく。今後、出荷量65万本を目標に東北・関東市場へ12月下旬頃まで出荷していく。



女性部・生け方学び生活に彩を

女性部櫛引支部は6月14日、櫛引支所で生け花教室を開いた。部員約10人が参加し、各々が持ち寄った野の花や草木を使って生け花を楽しんだ。この活動は、部員同士の親睦を深めることを目的に行われている。この日は、同部員が講師を務め、自宅の庭などにある花をきれいにバランス良く生けるためのポイントを説明。主役となる花を活かしながら、大胆に生けるようアドバイスした。部員らは花の位置や高さに悩みながらも個性を活かした作品を創り上げた。参加した部員は「主役の花を際立たせることに苦戦したが、きれいに生けることができた」と話した。完成した作品は、各家庭に飾り生活を彩る。



女性部・竹あかり作りに挑戦

女性部温海支部は6月13日、温海支所で「手づくり教室」を開き、竹に穴を開け、中にろうそくやLEDライトを入れて明かりを灯す「竹あかり」作りに挑戦した。参加した同部員約20人は、温海地域の竹あかりサポートである講師2人に作成方法を学んだ。竹あかりは、バーナーで竹を炙り油を拭き取る作業を繰り返した後、好きな模様の型を選びドリルで穴を開けて完成する。部員らは、慣れない作業に苦戦しながらも声を掛け合って作業した。参加した部員は「ドリルを初めて使ったが、子どもの頃の工作を思い出すようで楽しい」と笑顔で話した。完成した竹あかりは、自宅に飾るなどして楽しむ。



「心の声」

あなたの座右の銘を教えて下さい。

「明けない夜はない」「継続は力なり」明瞭・簡潔な言葉。
普段は意識しませんが、時として、難問や失敗を乗り越える力を与えてくれます。 E・Hさん【新余目】

私は言葉を大切にしています。私の座右の銘は「心から言葉が生まれる」です。 Y・Sさん【柳弓】

私の座右の銘は「願わない事は実現しない」です。これは、高校時代の恩師から卒業する時にいただいた言葉です。自分の強い思いは、夢を実現する原動力になるという意味です。迷った時は、この言葉を思い出します。 K・Yさん【朝日】

今までの人生の中で、ほんの少しだけ人の上に立つことがあります。その時に心がけたのは、山本五十六の「やってみせて、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」です。これが私の座右の銘です。 S・Mさん【新潟県】

五十嵐 美佳さん 柳弓支所管内
いがらし みかさん りゅうぎゆうしょくぶんない

現在、北海道の大学に通っています。ギターを弾いたり歌ったりすることが趣味で、おいしいものを食べることも大好きです。特に庄内のラーメンは絶品です！



aito

Jul 2023
No.340

発行／庄内たがわ農業協同組合
〒999-7611 山形県鶴岡市上藤島字櫛中下3-1
TEL.0235-61-3000 電子メール tigawa@ja-shonai.or.jp
印刷／庄内農村工業農業協同組合連合会



ホームページ
[Twitter](#)
[Instagram](#)